

インフルエンザ流行発生注意報発令！

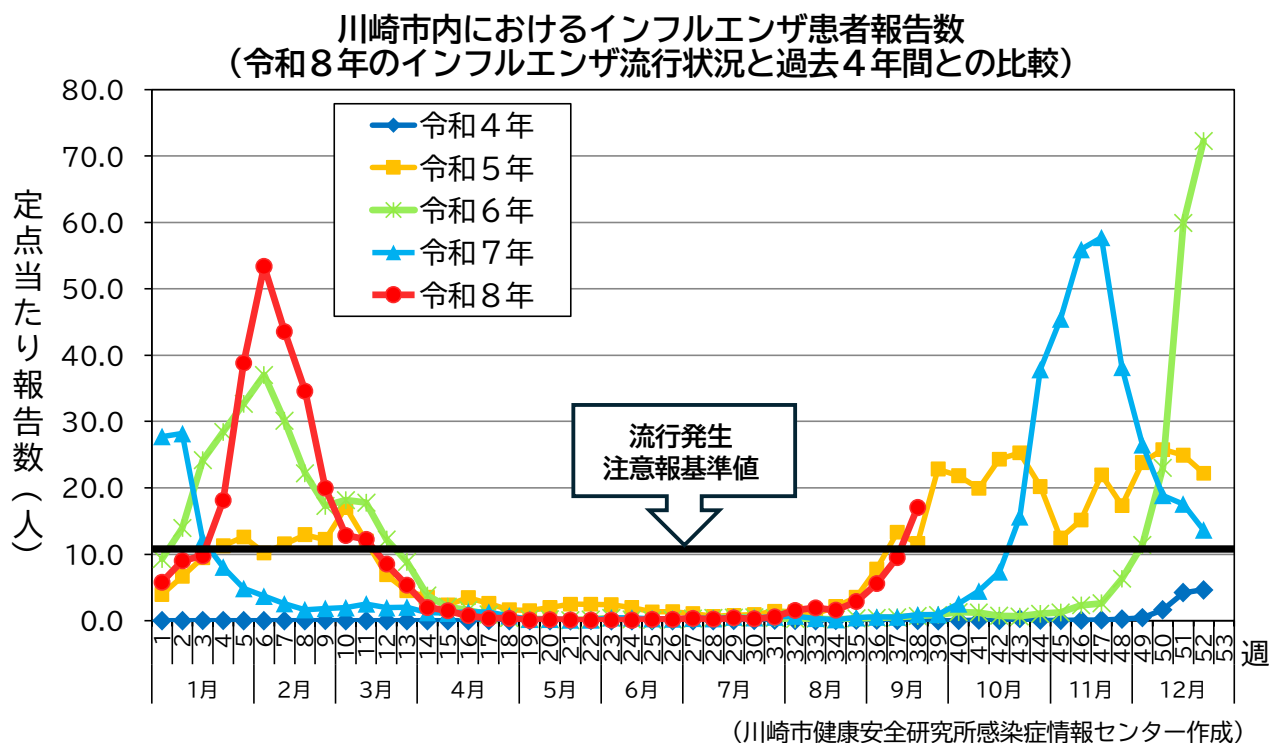
～かからない、うつさないための対策を～

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数が、令和8年第38週（9月14日～9月20日）に基準値（10.00人）を超えたため、流行発生注意報を発令します。

今後、インフルエンザの更なる流行拡大も予測されますので、インフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりが咳エチケットや手洗い等の感染対策を心掛けましょう。

1 本市におけるインフルエンザ流行状況

インフルエンザの定点当たり患者報告数は、令和8年第38週（集計期間：9月14日～9月20日）に17.03人となり、流行発生注意報の基準値を超えました。



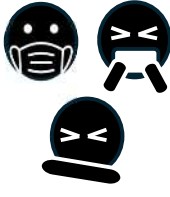
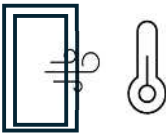
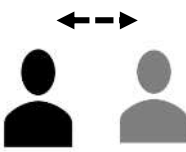
*本市で実施している感染症発生動向調査では、毎週61施設の急性呼吸器感染症定点医療機関から患者の発生状況を報告いただいています。患者報告数は集計時点の速報値のため、次週以降の週報において更新される場合があります。

2 過去4週間の定点当たり患者報告数

第34週（8月17日～8月23日）：1.58人
 第35週（8月24日～8月30日）：2.87人
 第36週（8月31日～9月6日）：5.61人
 第37週（9月7日～9月13日）：9.52人

3 インフルエンザの予防について

- ・外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう！
- ・人に咳やくしゃみをかけない「咳エチケット」を身につけましょう！
- ・ふだんの健康管理に注意しましょう！
- ・室内のこまめな換気や適切な湿度を保ちましょう！
- ・不要不急のときはなるべく人混みを避けましょう！
- ・ワクチン接種を検討しましょう！

インフルエンザに「かからない、うつさない」ためのポイント					
					
外出後の手洗い	咳エチケット	十分な休養と バランスのとれた 栄養摂取	こまめな換気・ 適度な湿度の保持 (湿度 50～60%程度)	人込み回避	ワクチン接種で 重症化予防

4 高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種について

インフルエンザ予防接種は、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があるとされています。高齢者はインフルエンザ予防接種を一部公費負担で受けることができます。

実施期間：令和8年9月24日(木)から令和9年1月31日(日)までの間に1回

対象者：川崎市内に住民登録がある方で、接種日に65歳以上の方 など

詳細は下記川崎市ホームページで御確認ください。

自己負担金：2,300円

問合せ窓口：川崎市予防接種コールセンター（044-200-0144）

対応時間：午前8時30分から午後5時15分まで（月曜日から金曜日※祝日、年末年始除く）

協力医療機関：下記川崎市ホームページで御確認ください。

インフルエンザ定期予防接種に関する詳細はこちら

- ・川崎市ホームページ「【令和8年度は9月24日から】高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種」

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000017625.html>

- ・川崎市ホームページ「令和8年度高齢者のインフルエンザ予防接種個別協力医療機関名簿」

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000086100.html>



《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策課 神庭（かにわ）

電話 044-200-2446（内線32921）

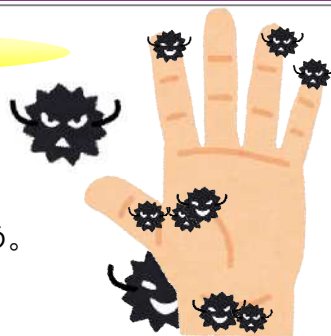
ウイルスを撃退して

インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。
外出したら、必ず石けんで手洗いをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人に咳やくしゃみをかけない「咳エチケット」を身につけましょう

- ◆ 咳やくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。
(口だけでなく鼻もおおきましょう)
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ 咳やくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。(湿度50%~60%程度)
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



不要不急のときはなるべく人混みを避けましょう

- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。



ワクチン接種を検討しましょう

- ◆ インフルエンザ予防接種は、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があるとされています。接種から2~3週間で効果が現れますので、できるだけ早い接種をおすすめします。

